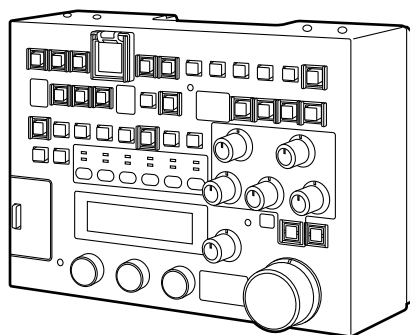
取扱いガイド

AG-HPX600 にリモートコントロールユニット（AJ-RC10G）を接続される場合にご覧ください

リモートコントロールユニットAJ-RC10Gの詳しい取扱い方法は、
AJ-RC10G に付属の取扱説明書をご覧ください。

Panasonic

JAPANESE

M0812HM1023 -YI

VQT4M12-1 (J)

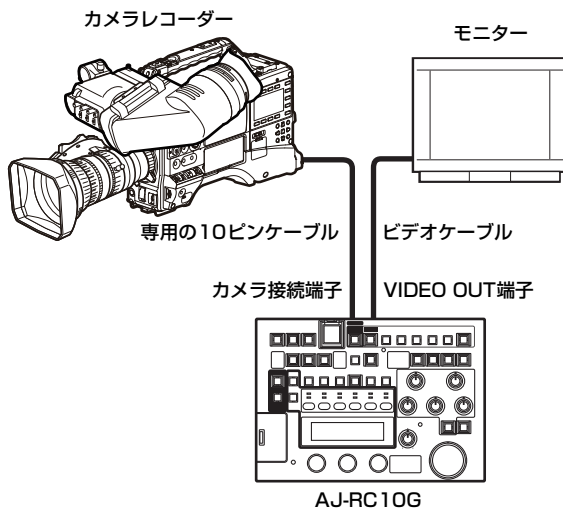
目次

接　続

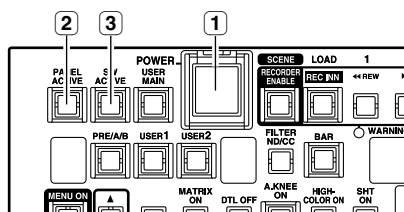
1 カメラレコーダーの電源を切った状態で、カメラレコーダーのRCU 10ピンコネクターと、本機を接続ケーブルで接続します。

2 カメラレコーダーの電源投入後、本機の電源を入れてください。

<ノート>
- カメラレコーダーから本機を外した際に、接続中に本機で行ったカメラレコーダーの設定を接続前に戻すか、調整した後の状態にするかは、メニューのFUNC項目での設定で決定されます。
- 接続したケーブルを強く引っ張らないでください。また、カメラレコーダーを移動しながら使用する場合は、ケーブルを三脚やカメラレコーダーのハンドルなどに固定し、コネクター部に直接力が加わらないようにしてください。

システム構成図

各部の名称と働き

フロントパネル

パネル部

① POWERボタン

本体の主電源のON/OFFスイッチです。

② PANEL ACTIVEボタン

パネル操作の受付を切り替えます。

点灯時： パネル操作を受け付けます。電源をONにするとこの状態になります。
消灯時： POWERボタン、PANEL ACTIVEボタンを除く、本機のボタン等の受付を禁止します。

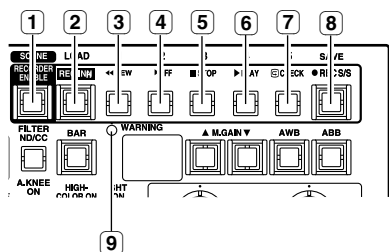
カメラレコーダーの動作状態を示すボタンの点灯、LED表示はカメラレコーダーの動作状態に従います。

③ SW ACTIVEボタン

ボタン/スイッチ操作の受付を切り替えます。

点灯時： ボタン/スイッチ操作の受付を可能にします。
消灯時： POWERボタン、PANEL ACTIVEボタン、SW ACTIVEボタン、VR ACTIVEボタン、AUTO IRISボタン、M.PED ボリューム、IRIS ボリュームを除く、本機のボタン等の受付を禁止します。

カメラレコーダーの動作状態を示すボタンの点灯、LED表示はカメラレコーダーの動作状態に従います。

カメラレコーダー /シーンファイル操作部

① RECORDER ENABLEボタン

レコーダーモード/シーンファイルモードを切り替えます。

点灯時： レコーダーモード
ボタン③～⑧は記録部の制御ボタンとして動作します。

消灯時： シーンファイルモード
ボタン③～⑧がシーンファイルの読み出し、保存の制御ボタンとして動作します。電源をONにするとこの状態になります。

② REC.INH/LOADボタン

レコーダーモード時：
点灯時、REC S/Sボタン ⑧ の受付が禁止されます。
ただし本機で記録禁止状態でも、REC機能を割り付けたUSERボタンの操作、およびカメラレコーダーからのRECボタン操作は有効です。
また電源ON時は、このボタンは消灯しています。

シーンファイルモード時：
シーンファイルのLOADスイッチとして動作します。リモコン内のファイルからデータを呼び出します。

③ REW/1ボタン

レコーダーモード時：
早戻し動作を行います。早戻し中に点灯します。

シーンファイルモード時：
SAVE/LOADするシーンファイルの番号として１を選択します。

④ FF/2ボタン

レコーダーモード時：
早送り動作を行います。早送り中に点灯します。

シーンファイルモード時：
SAVE/LOADするシーンファイルの番号として２を選択します。

⑤ STOP/3ボタン

レコーダーモード時：
停止動作を行います。

シーンファイルモード時：
SAVE/LOADするシーンファイルの番号として３を選択します

⑥ PLAY/4ボタン

レコーダーモード時：
再生動作を行います。
再生中に点灯し、再生中に再度押すと再生/一時停止状態に移行し、点滅表示に変わります。
更にもう一度押すと再生状態に戻り、点灯表示にもどります。

シーンファイルモード時：
SAVE/LOADするシーンファイルの番号として４を選択します

各部の名称と働き（続き）

⑦ CHECK/5 ボタン

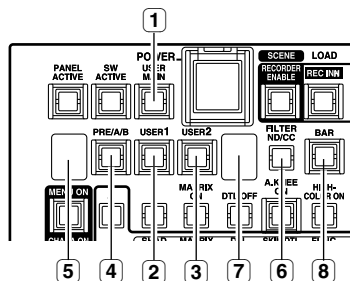
レコーダーモード時：
記録確認ボタンです。記録の一時停止中に押すと、記録された内容の確認ができます。
早戻し中に点滅し、再生中に点灯します。
シーンファイルモード時：
SAVE/LOADするシーンファイルの番号として５を選択します。

⑧ REC S/S/SAVE ボタン

レコーダーモード時：
記録のスタート/ストップボタンです。
カメラレコーダーのREC STARTボタンと同じ動作で、記録中に点灯します。
シーンファイルモード時：
シーンデータのSAVEボタンとして動作します。
③〜⑦のボタンで選択した、リモコン内のファイルに現在のデータを保存します。

⑨ RECORDER WARNINGランプ

カメラレコーダーのWARNINGランプと同じく、カメラレコーダーに異常が発生したとき点滅、または点灯します。くわしくは、カメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。

カメラ基本操作部

① USER MAINボタン

カメラレコーダーにあるUSER MAINスイッチと同じ機能です。押した時のみ点灯します。

<ノート>
USER MAINボタンに割り付けられる機能は、カメラレコーダーまたは本機からのカメラメニューの操作で選択できます。

② USER1ボタン

カメラレコーダーにあるUSER1スイッチと同じ機能です。押した時のみ点灯します。

<ノート>
USER1ボタンに割り付けられる機能は、カメラレコーダーまたは本機からのカメラメニューの操作で選択できます。

③ USER2ボタン

カメラレコーダーにあるTHUMBNAILスイッチと同じ機能です。
AG-HPX600接続時にこのボタンを押すと、ビューファインダー /液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
このとき本機の液晶パネルに「THUMBNAIL OPEN」と表示されMENU ONボタンも同時に点灯します。

④ PRE/A/Bボタン

カメラレコーダーのWHITE BALスイッチと同様に、PRE、A、Bと切り替えが可能です。
押すとPRE→A→B→PREと切り替わります。
電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。

⑤ PRE/A/B表示部

カメラレコーダーのWHITE BALスイッチの状態をP/A/bで表示します。

⑥ FILTER ND/CCボタン

AG-HPX600接続時は機能しません。

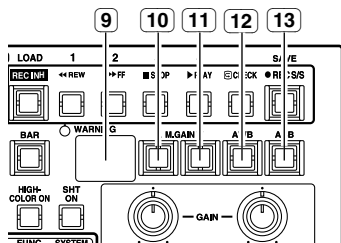
⑦ ND表示部

NDフィルター位置を1/2/3/4で表示します。

⑧ BAR ON/OFFボタン

カメラレコーダーの出力を、カラーバー /カメラ信号のいずれかから選択します。
カメラレコーダーからの出力がカラーバーの時に点灯し、それ以外で消灯します。
電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。

各部の名称と働き（続き）

カメラ基本操作部（続き）

⑨ GAIN表示部

カメラレコーダーの映像ゲインを表示します。初期値はカメラレコーダーのGAINスイッチがLの時のゲイン値になります。

⑩ M.GAIN▲ボタン

押すとカメラレコーダーの映像ゲインがアップします。
押した時のみ点灯します。

⑪ M.GAIN▼ボタン

押すとカメラレコーダーの映像ゲインがダウンします。
押した時のみ点灯します。

<ノート>

●FUNC の RC-DATA-SAVE 項目を ON にすると、M.GAIN のゲイン値が、カメラレコーダーの GAIN スイッチが L のときのゲイン値（LOW GAIN）としてカメラレコーダーに記憶されます。

●USER SWでのGAIN UPが動作しているときは ⑩、⑪ のボタンを押してもゲインはアップダウンしません。

⑫ AWBボタン

押すとカメラレコーダーがAWB（オートホワイトバランス）を開始します。
AWB実行中は点灯し、正規に終了すると消灯します。AWBが不正に終了した場合は、5秒間点滅した後、消灯します。
また、PRE/A/Bボタンでホワイトバランスがprefixに設定されている場合は、AWBボタンを押すごとにプリセットされている色温度（「3.2K」と「5.6K」）を切り替えることができます。

⑬ ABBボタン

押すとカメラレコーダーがABB（オートブラックバランス）を開始します。
ABB実行中は点灯し、正規に終了すると消灯します。ABBが不正に終了した場合は、5秒間点滅した後、消灯します。

カメラ基本操作部（続き）

⑭ MATRIX ONボタン
AG-HPX600接続時は機能しません。

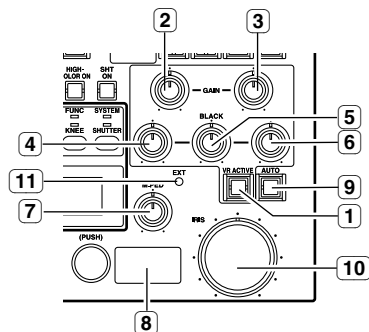
⑮ DTL OFFボタン
AG-HPX600接続時は機能しません。

⑯ A.KNEE ONボタン
カメラレコーダーにあるAUTO KNEEスイッチと同じ機能です。
電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。
AUTO KNEEスイッチがONのとき点灯し、それ以外で消灯します。
AG-HPX600のメニュー <SW MODE> ページのAUTO KNEE SW項目がONのときは、AUTO KNEE機能のON/OFFがこのボタンで切り替えられます。
またAUTO KNEE SW項目がDRSのときは、このボタンでDRSのON/OFFが切り替えられます。
AUTO KNEE SW項目がOFFのときは、このボタンを押しても機能の切り替えは行われません。

⑰ HIGH COLOR ONボタン
AG-HPX600接続時は機能しません。

⑱ SHT ONボタン
シャッター機能のON/OFFを切り替えます。
ON時のシャッタースピードは、本機のメニューで選択します。
シャッター機能がONのとき点灯し、それ以外で消灯します。
電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。

各部の名称と働き（続き）

ボリューム設定部

1 VR ACTIVEボタン

GAINボリューム 2～3、BLACKボリューム 4～6 の操作を許可/禁止するボタンです。
電源をONにしたときは、禁止した状態になっています。
操作を許可したとき点灯し、それ以外で消灯します。

2 R GAINボリューム

Rchのゲインを調整します。
本機WHITEメニューのGAIN-VR-MODE項目で、相対値/絶対値モードを切り替えます。カード読み込み時、シーンファイル読み込み時には相対値モードになります。
B GAINボリュームも同様です。

3 B GAINボリューム

Bchのゲインを調整します。

＜ノート＞
- WHITE BALスイッチの状態がA/bのときに A/b 独立にゲインの調整ができます。
- カメラレコーダーが ATW（自動追尾型オートホワイトバランス）で動作している場合は、ゲインの調整は動作しません。

4 R BLACKボリューム

Rchの黒レベルを調整します。（ペデスタル調整のみ）
本機のメニュー BLACK-VR-MODE項目で、相対値/絶対値モードを切り替えます。カード読み込み時、シーンファイル読み込み時には相対値モードになります。
G BLACKボリューム、B BLACKボリュームも同様です。
そのとき、1のVR ACTIVEボタンが点滅します。

5 G BLACKボリューム

Gchの黒レベルを調整します。（ペデスタル調整のみ）

6 B BLACKボリューム

Bchの黒レベルを調整します。（ペデスタル調整のみ）

＜ノート＞
ボリューム操作をした時に、他のチャンネルのレベルが若干変化する場合があります。

7 M.PEDボリューム

マスターペデスタルレベルを調整します。
調整範囲は、センターが0、最小値が－100、最大値が+100です。

8 IRIS表示部

カメラのアイリスを表示します。

9 AUTO IRISボタン

オートアイリス機能をONにします。
電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。
本機がカメラにオートアイリスを指令時に点灯し、それ以外のときに消灯します。

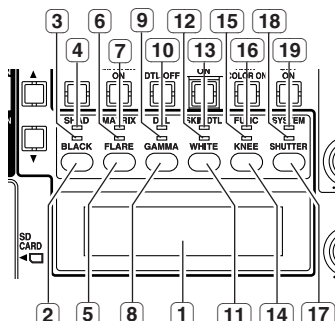
10 IRISボリューム

カメラのアイリスを調整します。
AUTO IRISボタン 9 がOFFのとき、右に回すことでアイリスをCLOSE→OPENまで動かせます。

11 EXT警告ランプ

レンズエクステンダーが入っているとき、点灯します。

各部の名称と働き（続き）

本機メニュー操作部

① 液晶パネル
本機のメニュー操作ボタン②、⑤、⑧、⑪、⑭、⑰で選択した項目のメニューを表示します。
また、タイムコードを表示することもできます。

② BLACK/SHADボタン
液晶パネルに表示する大項目を選択します。押すごとに、BLACK → SHAD → メニューモードに入る前の状態 → BLACKと切り替わります。

③ BLACKランプ
液晶パネルの大項目にBLACKが選択されたとき点灯します。

④ SHADランプ
液晶パネルの大項目にSHADが選択されたとき点灯します。
（AG-HPX600接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。）

⑤ FLARE/MATRIXボタン
液晶パネルに表示する大項目を選択します。
押すごとに、FLARE → MATRIX → メニューモードに入る前の状態 → FLAREと切り替わります。

⑥ FLAREランプ
液晶パネルの大項目にFLAREが選択されたとき点灯します。
（AG-HPX600接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。）

⑦ MATRIXランプ
液晶パネルの大項目にMATRIXが選択されたとき点灯します。
（AG-HPX600接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。）

⑧ GAMMA/DTLボタン
液晶パネルに表示する大項目を選択します。押すごとに、GAMMA → DTL → メニューモードに入る前の状態 → GAMMAと切り替わります。

⑨ GAMMAランプ
液晶パネルの大項目にGAMMAが選択されたとき点灯します。
（AG-HPX600接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。）

⑩ DTLランプ
液晶パネルの大項目にDTLが選択されたとき点灯します。
（AG-HPX600接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。）

⑪ WHITE/SKIN DTLボタン
液晶パネルに表示する大項目を選択します。押すごとに、WHITE → SKIN DTL → メニューモードに入る前の状態→ WHITEと切り替わります。

⑫ WHITEランプ
液晶パネルの大項目にWHITEが選択されたとき点灯します。

⑬ SKIN DTLランプ
液晶パネルの大項目にSKIN DTLが選択されたとき点灯します。
（AG-HPX600接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。）

⑭ KNEE/FUNCボタン
液晶パネルに表示する大項目を選択します。押すごとに、KNEE → FUNC → メニューモードに入る前の状態 → KNEEと切り替わります。

⑮ KNEEランプ
液晶パネルの大項目にKNEEが選択されたとき点灯します。
（AG-HPX600接続時はランプが点灯してもメニュー操作は機能しません。）

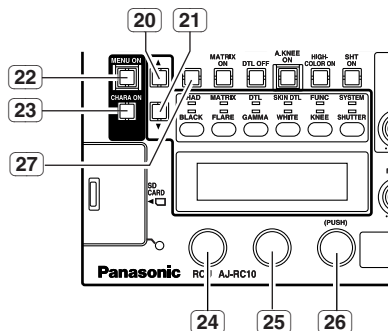
⑯ FUNCランプ
液晶パネルの大項目にFUNCが選択されたとき点灯します。

⑰ SHUTTER/SYSTEMボタン
液晶パネルに表示する大項目を選択します。押すごとに、SHUTTER → SYSTEM → メニューモードに入る前の状態→ SHUTTERと切り替わります。

⑱ SHUTTERランプ
液晶パネルの大項目にSHUTTER項目が選択されたとき点灯します。

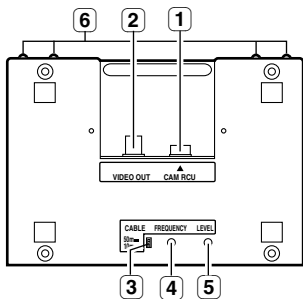
⑲ SYSTEMランプ
液晶パネルの大項目にSYSTEM項目が選択されたとき点灯します。

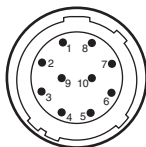
⑳ ▲ボタン
㉑ ▼ボタン
液晶パネルの表示切り替えと、本機のメニューの中項目の選択を行います。
押されている状態で点灯し、離すと消灯します。

㉒ MENU ONボタン
3秒間長押しすることでカメラレコーダー側のメニューが開きます。このとき液晶パネルに「CAMERA MENU OPEN」と表示されます。また、このとき点灯し、本機のメニューとシーンファイルの操作は受け付けません。
カメラレコーダーのメニューが開いている状態で押すと、表示されているメニューの階層が１つ戻ります。最上層のメニューを開いている場合はメニューが閉じます。

㉓ CHARA ONボタン
本機のVIDEO OUT端子およびAG-HPX600本体のVIDEO OUT端子から出力される映像信号に、キャラクタを載せるかどうかを選択します。
AG-HPX600のSmartUIの［SET02:MON/HDMI FORMAT］画面の［CHR］項目の設定は無効になります。
電源をONにしたときは、OFFにする前の状態になっています。
キャラクタを載せる場合は点灯し、載せない場合は消灯します。

㉔ ロータリーエンコーダー 1
㉕ ロータリーエンコーダー 2
㉖ ロータリーエンコーダー 3
液晶パネルによるメニュー操作や、カメラメニューの操作に使用します。
カメラメニューの操作は、右側のロータリーエンコーダーで行います。
ロータリーエンコーダーの操作はカメラ側のJOGスイッチと同じ（+、−、PUSH）です。

㉗ 空きボタン
機能の割り付けられていない空きボタンです。

背面

1 カメラ接続端子

10ピンカメラコントロールケーブルを接続します。

ピン No.	信号内容
1	CAM DATA (H)
2	CAM DATA (C)
3	CAM CONT (H)
4	CAM CONT (C)
5	ECU_ON
6	Video 入力
7	GND (Video)
8	予備
9	+12 V (IN)
10	GND

2 VIDEO OUT端子

カメラレコーダー本体のメニュー操作用に、NTSC、またはPALのモニターを接続します。

3 ケーブル長さ切換スイッチ

50mケーブルを使用する場合にONにします。

4 周波数特性調整ボリューム

VIDEO信号の周波数特性を調整するのに使用します。

5 レベル調整ボリューム

VIDEO信号のレベルを調整します。

6 目隠しビス

この4本のビスは、外した状態でも本機の使用は可能ですが、外した状態のまま長時間、放置しないでください。また、ビスを使用していないときは必ず保管してください。

<ノート>

背面の4本のビスは、外さないでください。

基本操作

電源を投入すると

POWERボタンを押すと、PANEL ACTIVEボタンが点灯し、カメラレコーダーの設定状態が本機に読み込まれます。
PRE/A/B表示部、ND表示部、GAIN表示部、IRIS表示部には、それぞれの数値が表示され、液晶パネルにはR GAIN、B GAINが表示されます。
この時は、本機からPANEL ACTIVEボタン、SW ACTIVEボタン、VR ACTIVEボタン、AUTO IRISボタン、M.PEDボリュームとIRISボリュームのみ操作可能で、他のボタン・ボリューム操作はできません。
ただし、A.KNEE ONボタン、SHT ONボタン、AUTO IRISボタン、BAR ON/OFFボタンとCHARA ONボタンの設定、およびシャッターの設定値は、本機の前回の設定状態になります。

ボタン・ボリュームを有効にする

SW ACTIVEボタンを押し、点灯させるとボタンの操作が可能になります。

1) カメラ部の操作

SW ACTIVEボタンを押すと、USER MAINボタンやGAINの操作や本機の内蔵メモリーへのシーンファイルの保存や読み出しなどのカメラレコーダーの操作を行えます。
SW ACTIVEボタンを再度押すと、消灯してボタンの操作は禁止されますが、それまでに設定した状態は保持されます。

2) 記録部の操作

RECORDER ENABLEボタンが消灯時、記録部の操作はできません。RECORDER ENABLEボタンを押して点灯させてから、PLAYやFF、REWの操作を行います。
記録を行うには、REC S/Sボタンで操作してください。

3) 液晶パネルでの数値の表示

電源投入時、GAINボリュームの値が表示されます。
ボタン操作が可能な状態であれば、▲ボタンと▼ボタンで、表示される数値をGAINボリューム → BLACKボリューム → M/PEDの数値 → TCと切り替えることができます。
ボリューム操作が有効であるとき、GAINまたはBLACKボリュームを操作したときは、強制的にそのボリューム値が表示されます。
ただし、ロータリーエンコーダー 3を押すことにより、GAINまたはBLACKボリュームを操作する前の表示に切り替えることができます。

<ノート>
本機メニュー操作時、およびカメラメニュー操作時は、表示の切り替えはできません。
また、ボリュームの操作を行ってもボリューム値は表示されません。

ボタン・ボリュームを無効にする

PANEL ACTIVEボタンを押して消灯させると、パネル上のボタンとボリュームによる操作が禁止されます。
また、VR ACTIVEボタンを押して消灯させると、GAINとBLACKのボリュームによる設定が禁止されます。設定後にその状態を保持させたい場合にご利用ください。ただし、禁止している間にボリュームを動かした場合、PANEL ACTIVEボタンやVR ACTIVEボタンを再度押して点灯させた瞬間に、ボリュームの値が反映されますのでご注意ください。

<ノート>
GAINとBLACKは本機メニューのボリュームモードを相対値（REL)に設定し、禁止期間のボリューム位置変化の影響を避けることができます。

基本操作（続き）

カメラレコーダーの操作

1) 表示連動スイッチの操作

PRE/A/B表示部を確認しながら、PRE/A/Bボタンでホワイトバランスの設定を選択します。
カメラレコーダーのフィルターの状態が、ND表示部に表示されます。
ゲインの変更は、M.GAIN▲ボタンとM.GAIN▼ボタンの２ボタンで、GAIN表示部を確認しながら行います。

2) USERスイッチの操作

USER MAIN/USER1ボタンは、カメラレコーダーのUSERスイッチと同じ働きをします。USERスイッチの機能の割り当ては、カメラメニュー内のUSER-SW項目で確認・設定ができます。

3) ABB/AWB/BARスイッチ操作

ABBボタン、AWBボタンはカメラレコーダーのホワイトバランス・ブラックバランスのスイッチと同じ働きをし、それぞれの機能の実行中に点灯します。
BARボタンはカメラ出力をカラーバーに切り替えます。カメラ出力がカラーバーを出力中に点灯します。

4) その他のスイッチの操作

A.KNEE ONボタンとSHT ONボタンは押すごとにON/OFFが切り替わり、それぞれONの時にボタンが点灯します。

基本操作（続き）

本機のボリュームによるカメラの操作

PANEL ACTIVEボタンが点灯しているとき、M.PEDボリュームとIRISボリュームの操作をすることができます。
AUTO IRISボタン点灯時には、IRISボリュームはオートアイリスの目標値設定ボリュームとして動作します。
VR ACTIVEボタンが点灯しているとき、GAINボリューム、BLACKボリュームの操作をすることができます。
本機メニューで、GAINボリューム、BLACKボリュームの動作を絶対値モードで行うか、相対値モードで行うかを選択することができます。

＜ノート＞

- 相対値モードは、ボリューム操作を有効にした時点では値は変わらず、有効にした時点でのボリュームの回転位置から、ボリュームを回転した量だけ値が変わるモードです。
  絶対値モードは、ボリューム操作を有効にした時点で、ボリューム回転位置に従って値が決まるモードで、センタークリックでは0です。
- ボリュームの可変範囲は以下のように選択できます。

ボリュームの可変範囲

	MIN	NORMAL	MAX
GAIN	±50	±100	−128～+127
BLACK	±25	±50	±100

* AG-HPX600の可変範囲は−128～+127です。

1) GAINボリューム

PRE/A/Bボタンでのホワイトバランス設定を変更後と、オートホワイトバランス（AWB）の実行後には、VR ACTIVEボタンが消灯し、ボリューム操作が無効になります。
AWB実行時、GAIN設定値が0になります。
相対値モード、絶対値モードを切り替えた場合、VR ACTIVEボタンが消灯し、ボリューム操作が無効になります。(GAIN値は変わりません)

＜ノート＞
AWBが不正に終了した場合、GAIN設定値は0に戻りません。

2) BLACKボリューム

ペデスタル（PED）の調整ボリュームとして動作します。
ただし、本機メニューのBLACK-VR-CONTROL項目でフレア（FLR）を選択した場合は動作しません。
オートブラックバランス（ABB）を実行するとVR ACTIVEボタンが消灯し、ボリュームは無効になります。

ABB 実行時の VR ACTIVE ボタンの変化

VR 設定	BLACK-VR-CONTROL	PEDESTAL OFFSET	
		OFF	ON
REL（相対値）	PED	消灯（無効）	消灯（無効）
	FLR	状態保持	状態保持
ABS（絶対値）	PED	消灯（無効）	消灯（無効）
	FLR	状態保持	状態保持

ABB 実行時のボリューム設定値の変化

VR 設定	BLACK-VR-CONTROL	PEDESTAL OFFSET	
		OFF	ON
REL（相対値）	PED	0 にクリア	保持
	FLR	保持	保持
ABS（絶対値）	PED	0 にクリア	保持
	FLR	保持	保持

* AG-HPX600接続時、■部分の設定は機能しません。

また、本機メニュー BLACK-VR-CONTROL項目を変更した場合もVR ACTIVEボタンが消灯し、ボリュームは無効になります。

3) M.PEDボリューム

ボリューム操作を有効にした時点で、ボリュームの位置に従い、値が決まる絶対値モードで動作します。センタークリックで0になります。
可変量はセンターが0、最小値が−100、最大値が+100です。

シーンファイルの操作

本機はシーンファイルが５つあり、現在の設定をシーンファイルとして保存したり、保存してある設定を読み出したりすることができます。
またSDメモリーカードでも、シーンファイルの保存/呼び出しが可能です。くわしくは「SDメモリーカードへのシーンファイルの 保存/読み出し」（18ページ）を参照してください。

1) シーンファイルの操作

RECORDER ENABLEボタン消灯時、本機の上段の右７個のボタンスイッチで操作します。

保存： １～５（青文字）ボタンで保存するファイル番号を選択します。押すと選択されたボタンが点滅します。この状態でSAVE（青文字）ボタンを押すと、SAVEボタンも点滅します。保存する場合はもう一度SAVEボタンを押します。保存が完了すると保存したファイル番号のボタンが点灯します。
１～５ボタンが点滅状態のとき、点滅したボタンをもう一度押すか、10秒以上放置すると選択が解除されます。

読み出し： １～５（青文字）ボタンで読み出すファイル番号を選択します。押すと選択されたボタンが点滅します。この状態でLOADボタンを押すと選択されたファイルが読み出されます。この時VR ACTVボタンが点滅し、本機メニューで設定しているボリュームの動作モードは無視され、相対値モードになります。

<ノート>

- ボリューム動作モードの設定が絶対値のまま、シーンファイルを読み出した後、VR ACTIVE ボタンを操作した場合、設定値がその時のボリュームの角度で決まる値になり、読み出した値は失われます。
  シーンファイルで読み出した値からボリューム操作をしたい場合は、VR ACTIVE ボタンが点滅のまま操作するか、VR ACTIVE ボタンを操作する前に、WHITE と BLACK のボリュームの動作を相対値モードに変更してください。
- シーンファイルの保存/呼び出しを行うと、保存 / 呼び出しを行ったファイル番号のボタンと、LOAD ボタンが点灯します。消灯するには LOAD ボタンを押してください。また、SD メモリーカードからシーンファイルを読み出したり、カメラメニューを開くとファイル番号ボタン、LOAD ボタンのいずれも消灯します。
- カメラメニューを開いた状態のとき、シーンファイルの操作はできません。

2) シーンファイルに保存される項目

「メニュー項目」を参照してください。「保存」の項目が○になっているものが保存されます。SDメモリーカードへの保存も同じなので、特定の本機に保存したシーンファイルを他の本機に使用する場合は、そのファイルを読み出した後、SDメモリーカードに保存して他の本機で読み出して本機のシーンファイルに保存してください。

<ノート>
シーンファイルの保存中は、電源を OFF にしないでください。保存したシーンファイルのデータが破損する恐れがあります。

＜参考＞
以下の方法で、本機のシーンファイル設定を、カメラレコーダーの工場出荷時の状態に揃えることができます。
ただし、本機で設定できない項目の設定は揃えることができません。

1. カメラレコーダーの設定を工場出荷時の設定にします。くわしくは、カメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。
2. 本機をカメラレコーダーに接続します。本機の設定は、カメラレコーダーから読み込まれます。
3. 本機SYSTEMメニューのRCU-FACTRYを実行します。
4. 本機の設定を、本機のシーンファイル1～5、またはSDメモリーカードに保存します。

記録操作

RECORDER ENABLEボタンを押し、レコーダーモードにすると、カメラレコーダーの記録部の操作が可能になります。
この時、REC INHボタンが点灯していると、本機のREC S/Sボタンは受付が禁止された状態になっています。記録を開始、または停止をするにはREC INHボタンを押して消灯させてから、REC S/Sボタンで記録の開始と停止を行ってください。

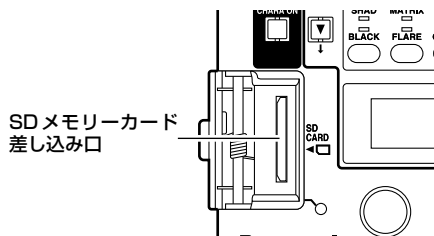
＜ノート＞
- REC INHボタン点灯中はREC S/Sボタンの操作受付を禁止しています。
- 記録部を操作中に、RECORDER ENABLEボタンを押して消灯させると、記録部の状態は消灯前の状態が保持され、本機に内蔵されたシーンファイルの操作を行うことができます。
- 本機での調整値をカメラレコーダーに残すかどうかは、本機FUNCメニューのRC-DATA-SAVEで設定可能です。

SDメモリーカードへのシーンファイルの保存/読み出し

本機の設定を８個までSDメモリーカードに保存することが出来ます。
カードの読み書き中はパネルの操作は受付禁止状態になります。本機のSDメモリーカードの差し込み口にSDメモリーカードを差し、本機メニューで操作を行います。

<ノート>
- 本機では8 MB以上のSDメモリーカードを使用してください。使用できる最大容量のSDメモリーカードは、2 GBです。
- SDメモリーカードは、必ず本機でフォーマットを行ってください。

SD メモリーカードの取り扱い

SDメモリーカードの抜き差しは、差し込む方向に注意してください。

また、最初にSDメモリーカードを使うときは、本機メニューの SYSTEM から「CARD CONFIG」を行ってください。

<ノート>
SDメモリーカードにデータを保存、またはSDメモリーカードからデータを読み込んでいる間は、SDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカード内のデータが破損する恐れがあります。

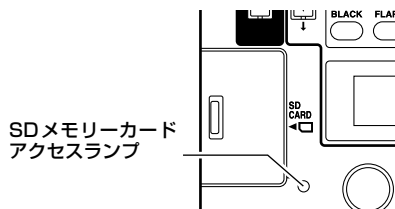
カードから読み込むには

1 SHUTTER/SYSTEMボタンで、SYSTEMを選択すると、液晶パネルに「CARD-RD」表示と、その下に数値が表示され、横にタイトルが表示されます。

2 ロータリーエンコーダー１で数値を変えて読み出したいファイルを選択します。
対象ファイルが無い場合、液晶パネルに「NO FILE」と表示されます。

3 ロータリーエンコーダー３を押します。
液晶パネルに「READ NO?」と表示されるので、ロータリーエンコーダー３を回して「YES?」を選択し、再度ロータリーエンコーダー３を押すことで読み出しを開始します。

4 読み出しが開始され、液晶パネルに「ACTIVE」と表示されます。
読み込み中はSDメモリーカードアクセスランプが点灯します。

5 読み出しが終了すると、SDメモリーカードアクセスランプが消灯し、液晶パネルに「OK」と表示されます。

<ノート>
読み出しが出来なかった場合、液晶パネルに「READ NG」と表示されます。もう一度、読み込みをやり直してください。再度読み込みに失敗した場合は、新しいSDメモリーカードと交換してください。

SDメモリーカードへのシーンファイルの保存/読み出し（続き）

カードに書き込むには

1 SHUTTER/SYSTEMボタンで、SYSTEMを選択し、▼ボタンで２階層目のメニューを表示します。

2 液晶パネルに「CARD-WR」とその表示の下にファイルNo.が表示されますので、ロータリーエンコーダー１を回し、書き込むファイルを選択します。

<ノート>
すでにファイルが記録されている場合はTITLE表示の下にタイトルが表示されますので、誤って上書きしないように注意してください。

3 液晶パネルにタイトル入力用のカーソルが表示されるので、ロータリーエンコーダー3を回し文字を選択し、ロータリーエンコーダー２を回転しカーソルを移動させます。文字数は最大８文字で、8文字まで入力すると、最後の文字は点滅のままになります。

4 ロータリーエンコーダー３を押すと、液晶パネルに「NO?」と表示されます。ロータリーエンコーダーを回して「YES?」を選択して、再度ロータリーエンコーダー３を押すことで書き込みを開始します。

5 書き込みが開始されると、SDメモリーカードアクセスランプが点灯し、液晶パネルに「ACTIVE」と表示されます。

6 書き込みが終了すると、SDメモリーカードアクセスランプが消灯し、液晶パネルに「OK」と表示されます。

カードからファイルを削除するには

1 SHUTTER/SYSTEMボタンで、SYSTEMを選択し、▼ボタンで３階層目のメニューを表示します。

2 液晶パネルに「CARD-DEL」と、その表示の下にファイルNo.が表示されますので、ロータリーエンコーダー１を回し、削除するファイルを選択します。

3 ロータリーエンコーダー３を押すと、液晶パネルに「NO?」が表示されます。ロータリーエンコーダー３を回して「YES?」を選択して、再度ロータリーエンコーダー３を押すことで削除を開始します。

4 削除が開始されると、SDメモリーカードアクセスランプが点灯し、液晶パネルに「ACTIVE」と表示されます。

5 削除を終了すると、SDメモリーカードアクセスランプが消灯し、液晶パネルに「OK」と表示されます。

カードの初期化

1 SHUTTER/SYSTEMボタンで、SYSTEMを選択し、▼ボタンで４階層目のメニューを表示します。
液晶パネルに「EXEC」と表示されます。

2 ロータリーエンコーダー３を押すと、液晶パネルに「NO?」が表示されます。ロータリーエンコーダー３を回して「YES?」を選択して、再度ロータリーエンコーダー３を押すことで初期化が開始されます。

以下は「カードからファイルを削除するには」の***4***、***5***と同様です。

メニュー操作

液晶パネルを使った操作

液晶パネルにメニューを表示して、ロータリーエンコーダー（１〜３）でメニューの調整ができます。

1 BLACK/SHADボタン、FLARE/MATRIXボタン、GAMMA/DTLボタン、WHITE/SKIN DTLボタン、KNEE/FUNCボタン、SHUTTER/SYSTEMボタンの内、いずれかを押してメニューの大項目を選択します。

2 ボタンを押すと、パネル下に書かれた項目 → パネル上に書かれた項目 → メニューモードに入る前の状態 → パネル下に書かれた項目、と切り替わります。
選ばれた大項目を表すLEDが点灯し、液晶パネルには選ばれた大項目のメニューの１階層目が表示されます。

3 メニューの階層を▼ボタンか▲ボタンで移動します。（ループはしません）

4 メニューの小項目の値をロータリーエンコーダーで調整します。
階層によって、１〜３個の小項目が液晶パネルに表示されます。
（階層によってはロータリーエンコーダー３を押す必要がある場合があります）

5 カメラメニューを開いた場合、本機液晶パネルのメニューは閉じられ、代わりに「CAMERA MENU OPEN」と表示されます。

カメラレコーダーメニューの操作

本機を使って、モニターを見ながらカメラレコーダーのメニュー設定が行えます。
本機メニューに含まれない項目を設定する際にご使用ください。

1 本機のVIDEO OUT端子と、モニターを接続します。

2 MENU ONボタンを3秒以上押します。
モニターにカメラレコーダーのメニューが表示されます。

<ノート>
CHARA ONボタンが消灯中は、モニターにメニューは表示されません。

3 ロータリーエンコーダー 3をカメラレコーダー本体のJOGダイアルと同様に操作して、メニュー操作を行います。
ロータリーエンコーダーを反時計方向に回すと数値が増加し、時計方向に回すと減少します。

<ノート>
メニュー項目・設定方法など、くわしくはカメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。

本機の機能調整

本機のボタンを押したときの応答音、液晶パネル・ボタンの点灯時の明るさなどを、本機のメニューで調整することができます。くわしくは「SYSTEM」（27ページ）を参照してください。

メニュー項目

メニューについて

本機のメニュー項目は、接続したカメラレコーダーによって、変わる場合があります。

また、以下のメニュー項目には、カメラレコーダーとは別に、本機のみの工場出荷値が設定されています。

- 「BLACK」の BLACK-VR-CONTROL、BLACK-VR-MODE、BLACK-VR-RANGE 項目
- 「WHITE」の GAIN-VR-MODE、GAIN-VR-RANGE 項目
- 「SYSTEM」の BUZZER、LCD CONTRAST、SW BRIGHT 項目
- 「SHUTTER」の MODE、SPED 項目

メニュー表の「保存」に○がついている項目は、シーンファイルとして本機、またはSDメモリーカードに設定を保存することができます。くわしくは「シーンファイルの操作」（16ページ）、および「SDメモリーカードへのシーンファイルの保存/読み出し」（18ページ）を参照してください。

<ノート>
AG-HPX600との接続時には、メニュー項目内の　　　部分の設定は機能しません。

BLACK

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	RPED	–128 : +127	Rch のペデスタルを設定します。	○
	GPED	–128 : +127	Gch のペデスタルを設定します。	○
	BPED	–128 : +127	Bch のペデスタルを設定します。	○
2	BLACK-VR-CONTROL	FLR PED	BLACK ボリュームで調整する項目を選択します。 FLR: FLARE PED: PEDESTAL （AG-HPX600 接続時は、FLR は動作しません。）	○
3	BLACK-VR-MODE	ABS REL	RGB の BLACK ボリュームを絶対値で動かすか、相対値で動かすかを切り替えます。 ABS: 絶対値 REL: 相対値	○
4	BLACK-VR-RANGE	MIN NORM MAX	RGB の BLACK ボリュームの可変範囲を切り替えます。 MIN:　±25 NORM:　±50 MAX:　±100	○

<ノート>
BLACK-VR-MODE が REL の場合、BLACK/SHAD ボタンを押して BLACK ランプを点灯させると、ロータリーエンコーダーを回して各 Ch のペデスタルが調整できます。

＿＿＿は工場出荷モードです。

メニュー項目（続き）

FLARE

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	RFLAR	–100 : +100	Rch のフレアを設定します。	○
	GFLAR	–100 : +100	Gch のフレアのを設定します。	○
	BFLAR	–100 : +100	Bch のフレアを設定します。	○
2	FLAR-CORRECT	ON OFF	フレア補正の ON/OFF の選択を行います。	○

GAMMA

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	RGAM	–15 : +15	Rch のガンマを設定します。	○
	MGAM	0.30 : 0.75	マスターガンマを設定します。	○
	BGAM	–15 : +15	Bch のガンマを設定します。	○
2	GAMMA-MODE-SEL	HD SD F-LIKE1 F-LIKE2 F-LIKE3	ガンマの選択を行います。	○
3	GAMMA-CORRECT	ON OFF	ガンマ補正の ON/OFF の選択を行います。	○

WHITE

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	RGAIN	–128 : +127	Rch のゲインを設定します。	○
	BGAIN	–128 : +127	Bch のゲインを設定します。	○
2	FILTER-INH	ON OFF	各フィルターごとに AWB メモリー (Ach、Bch) のデータを持つか持たないかの選択をします。 ON: フィルターに無関係に2メモリー（Ach、Bch) で持ちます。 OFF: 各フィルターごとに持ちます。	○
3	SKLS-AWB	OFF FAST NORMAL SLOW1 SLOW2 SLOW3	ショックレス AWB が ON（FAST/NORMAL/SLOW1/SLOW2/SLOW3) 時の選択を行います。	○
	AWBAREA	25% 50% 90%	AWB 検出エリアの切り替えを行います。	○
4	GAIN-VR-MODE	ABS REL	R、B の GAIN ボリュームを絶対値で動かすか、相対値で動かすかを切り替えます。 ABS: 絶対値 REL: 相対値	○
5	GAIN-VR-RANGE	MIN NORM MAX	R、B の GAIN ボリュームの可変範囲を切り替えます。 ただし、AG-HPX600 の可変範囲は－ 128 ～ +127 です。 MIN: ±50 NORM: ±100 MAX: － 128 ～ +127	○
6	COLR-TEMP-PRE	2300k : 8000k	AWB PRE での色温度を設定します。	×

<ノート>
GAIN-VR-MODE が REL の場合、WHITE/SKIN DTL ボタンを押して WHITE ランプを点灯させると、ロータリーエンコーダーを回して RGAIN および BGAIN が調整できます。

_____は工場出荷モードです。

メニュー項目（続き）

WHITE（続き）

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
7	AWB-A	MEM	WHITE BAL スイッチの位置と、Ach の割り当てを設定します。 MEM: AWB 実行時のメモリー値を割り当てます。	○
	TEMP-A	2300k : 8000k	WHITE BAL スイッチの位置と、Ach の時の色温度を設定します。ステップはカメラの状態で変化します。	×
8	AWB-A-GAIN-OFST	ON OFF	ON: AWB を実行しても AWB-A の GAIN OFFSET 設定値はリセットされません。 OFF: AWB を実行すると AWB-A の GAIN OFFSET 設定値はリセットされます。	○
9	AWB-B	MEM	WHITE BAL スイッチの位置と、Bch の割り当てを設定します。 MEM: AWB 実行時のメモリー値を割り当てます。	○
	TEMP-B	2300k : 8000k	WHITE BAL スイッチの位置と、Bch の時の色温度を設定します。ステップはカメラの状態で変化します。	×
10	AWB-B-GAIN-OFST	ON OFF	ON: AWB を実行しても AWB-B の GAIN OFFSET 設定値はリセットされません。 OFF: AWB を実行すると AWB-B の GAIN OFFSET 設定値はリセットされます。	○

KNEE

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	M-KNEE	ON OFF	AUTO KNEE スイッチが OFF 時のモードを設定します。 ON: MANUAL KNEE OFF: KNEE OFF	○
2	MKNPNT	70.0% : 107.0%	MANUAL KNEE POINT の位置設定を 0.5%ステップで行います。	○
	MKNSLP	00 : 99	MANUAL KNEE の傾きを設定します。	○
3	WCLIP	ON OFF	WHITE CLIP 機能の ON/OFF を選択します。	○
	WCLIPLVL	100% : 109%	WHITE CLIP LEVEL を設定します。	
4	AKNP	80% : 107%	AUTO KNEE POINT の位置設定を 1%ステップで行います。	○
	AKLV	100 : 109	AUTO KNEE LEVEL を設定します。	
	AKRESP	1 : 8	AUTO KNEE 応答速度を設定します。	

＜ノート＞

- カメラレコーダーと本機を接続して電源を投入した場合の初期設定は、WCLIP の設定は ON、WCLIPLVL の設定はカメラレコーダーの設定メニューの WHITE CLIP LVL 項目で設定されている値となります。
- WCLIP が OFF に設定されている場合、WCLIPLVL の設定は 109% となり、カメラレコーダーの設定メニューの WHITE CLIP LVL 項目も 109% に設定されます。
- RC-DATA-SAVE（27 ページ）が OFF に設定されている場合に本機の電源をオフにすると、カメラレコーダー本体の設定メニューの WHITE CLIP LVL 項目は本機を接続する前の状態に戻ります。
- WCLIPLVL が 100% 以下で設定された状態で書き出された SD カードのデータを読み込んだ場合、WCLIPLVL は 100% に設定されます。

メニュー項目（続き）

SHUTTER

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	MODE	FIX S.S	SHUTTER　ON 時のシャッター設定を、固定モードにするかシンクロスキャンモードにするか選択します。 FIX:　固定シャッター S.S:　シンクロスキャン	○
	SPED	選択可能なシャッター速度については、AG-HPX600の取扱説明書を参照してください。	シャッター速度を選択します。 モードにより選択速度種類（固定シャッター用、シンクロスキャン用）が変わります。	○
	ACTION	ON OFF	シャッターの状態を表示します。（表示のみ）	×

<ノート>
- ここで設定したシャッター設定のMODEと固定シャッター選択時のシャッター速度は本機内に記憶されます。
- シンクロスキャン時のシャッター速度は本機には記憶されません。FUNC の RC-DATA-SAVE 項目を ON にすると、シンクロスキャン時のシャッター速度はカメラレコーダー本体に記憶されます。
- シャッター設定を固定モードにしたとき、AG-HPX600 では小数点を含むシャッター速度が選択できますが、本機の SPED 表示には小数点以下は表示されません。

＿＿＿は工場出荷モードです。

SHAD

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	B-SHD	ON OFF	ブラックシェーディングの ON/OFF を選択します。	○
	DETECT	EXEC	オートブラックシェーディング調整を起動します。	×
2	W-SHD	ON OFF	ホワイトシェーディングの ON/OFF を選択します。	○
3	HSAW (W-R)	–255 : +255	R-H-SAW ホワイトシェーディングの調整を行います。 NORM と EXTENDER ごとに値を持ちます。	○
	HPAR (W-R)	–255 : +255	R-H-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	
4	VSAW (W-R)	–255 : +255	R-V-SAW ホワイトシェーディングの調整を行います。	○
	VPAR (W-R)	–255 : +255	R-V-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	
5	HSAW (W-G)	–255 : +255	G-H-SAW ホワイトシェーディングを調整します。	○
	HPAR (W-G)	–255 : +255	G-H-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	
6	VSAW (W-G)	–255 : +255	G-V-SAW ホワイトシェーディングを調整します。	○
	VPAR (W-G)	–255 : +255	G-V-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	
7	HSAW (W-B)	–255 : +255	B-H-SAW ホワイトシェーディングを調整します。	○
	HPAR (W-B)	–255 : +255	B-H-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	
8	VSAW (W-B)	–255 : +255	B-V-SAW ホワイトシェーディングを調整します。	○
	VPAR (W-B)	–255 : +255	B-V-PARA ホワイトシェーディングを調整します。	

メニュー項目（続き）

MATRIX

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	TABL	A B	マトリックス ON 時、および本機で設定するマトリックス色補正のテーブルを選択します。	○
	C-CORCT	ON OFF	12 軸色補正の ON/OFF を選択します。	
2	R-G	–63 : +63	R-G のマトリックス色を調整します。 TABL A/B で切り替わります。	○
	R-B	–63 : +63	R-B のマトリックス色を調整します。	
3	G-R	–63 : +63	G-R のマトリックス色を調整します。	○
	G-B	–63 : +63	G-B のマトリックス色を調整します。	
4	B-R	–63 : +63	B-R のマトリックス色を調整します。	○
	B-G	–63 : +63	B-G のマトリックス色を調整します。	
5	C-COR	R R-Mg Mg Mg-B B B-Cy Cy Cy-G G G-Yl Yl Yl-R	12 軸色補正で調整する色補正軸を選択します。	○
	SATU	–63 : +63	C-COR で選択された色補正軸の飽和度を調整します。	
	PHASE	–63 : +63	C-COR で選択された色補正軸の色相を調整します。	

DTL

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	MDTL	–31 : +31	マスターディテール (H および V) のレベル設定をします。	○
	HDTL	0 : 63	H.DTL LEVEL を設定します。	
	VDTL	0 : 31	V.DTL LEVEL を設定します。	
2	CORG	OFF 0 : 15	ディテールのノイズ除去レベルをを設定します。	○
	FREQ	0 : 31	H.DTL FREQ を設定します。	
	LDP	0 : 5	LEVEL DEPEND を設定します。	
3	K-AP	OFF 0 : 5	輝度が高い部分のディテールを設定します。	○
	+GAIN	–31 : +31	H.DTL の＋方向のレベルを設定します。	
	–GAIN	–31 : +31	H.DTL の－（下）方向のレベルを設定します。	
4	CLIP	0 : 63	DTL 信号の＋方向のクリップを設定します。	○
	SOURCE	R+G G+B 2G+R+B 3G+R R G	DTL 信号成分の信号源を設定します。	

メニュー項目（続き）

SKIN DTL

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	S DTL	OFF A B AB	スキントーンディテールを有効にする肌色テーブルを選択します。 OFF：肌色 DTL の OFF を選択します。 A：テーブル A で設定した SKINTONE 設定で DTL をつけます。 B：テーブル B で設定した SKINTONE 設定で DTL をつけます。 AB：テーブル A および B で設定した SKINTONE 設定で DTL をつけます。	○
	OUTPUT	MONI VIDEO	SKINZEBRA を付加する出力を選択します。	
	SZEB	ON OFF	OUTPUT で選択した出力に対する SKIN ZEBRA の ON/OFF を選択します。DETECT で設定されたテーブルの色に ZEBRA が付きます。	
2	TABL	A B	本機で調整する SKIN TONE のテーブルを選択します。	○
3	SCORG	0 : 7	SKIN TONE DTL コアリングの効果を設定します。	○
4	YMAX	0 : 255	SKIN TONE を効かせる輝度信号最大値を設定します。	○
	YMIN	0 : 255	SKIN TONE を効かせる輝度信号最小値を設定します。	
5	ICENT	0 : 255	I 軸上の中心位置の設定（SKIN TONE を効かせるエリアの設定）を行います。	○
	IWIDTH	0 : 255	I CENT を中心とした I 軸上の SKIN TONE を効かせるエリア幅を設定します。	
6	QWIDTH	0 : 90	I CENT を中心とした Q 軸上の SKIN TONE を効かせるエリア幅を設定します。	○
	QPHASE	–180 : +179	Q 軸を基準とした SKIN TONE を効かせるエリアの位相を設定します。	
7	SKIN-GET	EXEC	SKIN TONE DTL のターゲットになる色相を取得する時に使用します。	×

FUNC

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	IRISLVL	0 : 100	オートアイリスの目標値を設定します。	○
	PEAK/AVE	0 : 100	オートアイリスの基準に対するピークの占める割合を決定します。	
2	IRIS-WINDOW	NORM1 NORM2 CENTER	オートアイリス検出ウインドウを選択します。 NORM1：画面中央寄り NORM2：画面下寄り CENTR：画面中央のスポット状。	○
3	IRISGAIN	CAM LENS	アイリスゲインの調整を、カメラレコーダー側で行うか、レンズ側で行うかを選択します。	○
	GAINVAL	1 : 20	カメラレコーダー側での IRIS GAIN 調整値を設定します。	

メニュー項目（続き）

FUNC（続き）

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
4	USER-SW	USW-M USW-1 USW-2	機能を変更したいUSER スイッチを選択します。	○
	SELECT	INH S.GAIN DS.GAIN LINE MIX S.IRIS I.OVR S.BLK B.GAMMA AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET RET SW PRE REC DRS	USER-SW 項目で選択した USER ボタンに割り当てる機能を選択します。 <ノート> 本機とカメラレコーダーを接続時、I.OVR 機能は無効になっています。	
5	BLK-GAMMA	–3 –2 –1 OFF 1 2 3	暗部のガンマカーブを設定します。	○
6	RC-DATA-SAVE	ON OFF	本機を外したときに、本機での調整値をカメラレコーダー本体に残すかどうかを選択します。 OFF にすると、本機を外したときカメラレコーダーの設定は、本機接続前の状態に戻ります。 ON にすると、以下の調整値がカメラレコーダー本体に残ります。 ● LOW GAIN (7 ページ) ● M.PED ボリューム (9 ページ) ● RPED/GPED/BPED (21 ページ) ● RGAIN (22 ページ) ● BGAIN (22 ページ) ● MODE (24 ページ) ● SPED (24 ページ)	○

<ノート>
- R GAIN、B GAIN、RPED、GPED、BPED の設定値は本機のみで確認できます。
- AWB/ABB を動作させるとそれぞれの値は 0 に戻ります。
- MODE、SPED の設定値は、カメラレコーダー本体のシャッターポジションに置き換えられます。

SYSTEM

階層	項目	可変範囲	内容説明	保存
1	CARD-READ	1 : 8	読み出すファイルの番号を選択します	×
	TITLE	****** **	読み出すファイルのデータにつけられているタイトルを読み出し、表示します。	
2	CARD-WRITE	1 : 8	書き込むファイルの番号を選択します。	×
	TITLE	****** **	書き込むファイルのデータにつけるタイトルを入力します。	
3	CARD-DELETE	1 : 8	削除するファイルの番号を選択します。	×
	TITLE	****** **	削除するファイルのデータにつけられているタイトルを読み出し、表示します。	
4	CARD-CONFIG		カードをコンフィグします。	×
5	BUZZER	ON OFF	点灯するスイッチを押した時にブザーを鳴らすか否かを選択します。	×
6	LCD CONTRAST	0 : 10 : 15	液晶パネルのコントラストを調整します。	×
7	SW BRIGHT	0 : 10 : 15	点灯するスイッチの明るさを調節します。	×
8	RCU-FACTRY		本機のボリューム可変範囲などを、工場出荷設定に戻します。	×
9	VERSION		本機のソフトウエアのバージョンを表示します。	×

_____は工場出荷モードです。